

地域連携だより

No. 1

平成15年4月16日開設された地域連携室は、地域の医療機関及び介護支援事業所・施設等との連携を深め、急性期病院としての機能と役割により地域の皆様から、より一層の安心と信頼をいただける病院づくりを目指すものです。

この役割をより具体的に推進していくため、今年度「地域連携推進委員会」を発足しました。今後「市立総合病院」と「診療所(医院)が連携し、患者様を総合的、効果的かつ継続的にケアし、真に患者さんのための医療を行えるようがんばって参ります。



メンバーを紹介します。

委員長

外科診療部長
神谷 保 廣

医務局長	鮫 島 庸 一
小児科診療科長	久保田登志子
放射線科診療科長	大 川 賀 久
産婦人科診療科長	鈴 木 一 有
薬剤室長	後 藤 誠 一
診療放射線技師	春 田 孝 博
外来第一看護師長	宮 澤 か よ 子
5階東看護師長	大 石 昌 枝
2階西看護師長	平 川 元 目
総務課庶務係	望 月 恵 幸
医事課情報管理係	佐 藤 方 弘
地域連携室	岩 本 克 治
地域連携室	石 山 久 子

以上です。よろしくお願ひいたします。

糖尿病クッキングスクール



5月30日(日) 徳育保健センター 食育の部屋で糖尿病クッキングスクールが開かれました。患者さんやご家族が参加され、栄養士からの説明後、調理にかかりました。

メニューは、サケのねぎみそ焼き、きのこ牛肉の炒り煮、野菜のマリネ、にんじんグラッセ、アスパラの塩茹でなど。

参加者は弁当箱を持ち寄り、それぞれに合った量とバランスのお弁当を作りました。食後には、理学療法士から楽しい運動法などを学んで、気持ちの良い汗を流しました。

「明日は早速このメニューがお弁当です!」と大好評でした。

先日行われた調理教室についてご紹介いたします。

腎臓病調理実習



6月20日には、同じく徳育保健センターで腎臓病調理実習が開かれました。慢性腎不全では「エネルギーをしっかりとってタンパク質をひかえる」ことを中心に考えた献立は、ハンバーグ、タピオカのスープ煮、フルーツポンチ。参加者からは「楽しく食事療法の確認ができてよかった」などの意見が寄せられました。

このほかにも、透析食調理実習など、当院では症状にあわせて料理教室を行っています。ぜひ、一度ご参加ください。次回の調理教室の募集については、「健康のひろば」や「広報かけがわ」に掲載いたします。